

平成26年9月第4回松阪市議会定例会

請願文書表

受理番号	請願第8号
受理年月日	平成26年9月16日
件名	「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求める請願書
請願者の住所及び氏名	松阪市殿町1563番地 松阪市PTA連合会 会長 中村 保之 松阪市垣鼻町633番地 三重県松阪市小中学校長会 会長 小林 正則 松阪市西黒部町713番地1 三重県松阪市幼稚園長会 会長 土屋 陽子 松阪市垣鼻町1528番地4 三重県教職員組合松阪支部 支部長 濱地 章記
請願要旨	別紙のとおり
紹介議員	松田 俊助 久松 倫生 田中 力

「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求める請願書

提出 平成 26 年 8 月 26 日

松阪市議会議長 水谷晴夫様

紹介議員 松田俊助 

~~久松倫生~~

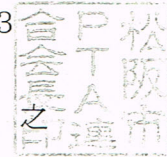
~~川口保~~

久松倫生 

提出者

田中 力 

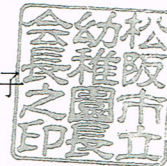
三重県松阪市殿町1563
松阪市PTA連合会
会長 中村保



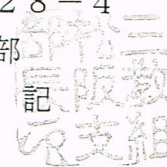
三重県松阪市垣鼻町633
三重県松阪市小中学校長会
会長 小林正



三重県松阪市西黒部町713-1
三重県松阪市幼稚園長会
会長 土屋陽子



三重県松阪市垣鼻町1528-4
三重県教職員組合松阪支部
支部長 濱地章



請願の趣旨

子どもたちの「豊かな学び」の保障にむけ、「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算の拡充をおこなうよう決議いただき、国の関係機関に意見書を提出いただくようお願い申し上げます。

請願の理由

三重県では、2003年度から小学校1年生の30人学級（下限25人）が実施されており、その後も小学校2年生の30人学級（下限25人）、中学校1年生の35人学級（下限25人）と他学年への弾力的運用等、拡充しています。松阪市内の少人数学級が実施されている学校では、「子どもたち一人ひとりに目が行き届くようになった。」「一つの問題をいろいろな方法で工夫して解こうとするようになった。」「前に出てきて自分の考えをすすんでみんなに説明するようになった。」などの教職員の声があり、大きな成果をあげています。

一方、国においては、2011年4月の「義務標準法」改正により、小学校1年生の35人以下学級が実現し、2012年には、法改正による引き下げではないものの、小学校2年生への実質的な拡大が実現しました。しかし、2014年度予算においても、教職員定数については35人以下学級の拡充が措置されず、教育課題に対応するための定数改善もきわめて不十分です。

2010年における日本の教育機関に対する公財政支出の対GDP比は3.6%で、経済協力開発機構（OECD）加盟国中、データ比較が可能な30カ国において、4年連続で最下位でした。2010年度から実施されている「高校無償化」が初めて反映された数値でしたが、加盟国平均の5.4%に遠く及びませんでした。2013年6月に閣議決定された第2期教育振興基本計画でも、同年4月の中教審答申「OECD諸国並みの公財政支出を行うことを目指す」から後退し、「OECD諸国など諸外国における公財政支出など教育投資の状況を参考とし」という表現にとどめられました。

山積する教育課題の解決をはかり、未来を担う子どもたち一人ひとりを大切にしたい教育をすすめるためには、学級編制基準の更なる引き下げや教育条件整備のための教育予算の拡充が必要です。

以上のような理由から、「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算の拡充を強く切望するものです。